

第19回図書館総合展 国立情報学研究所主催フォーラム  
「次世代CiNii」の展望  
オープンサイエンスを支える学術情報サービス

オープンサイエンスに対する  
機関リポジトリコミュニティの活動と  
次世代CiNiiへの期待

---

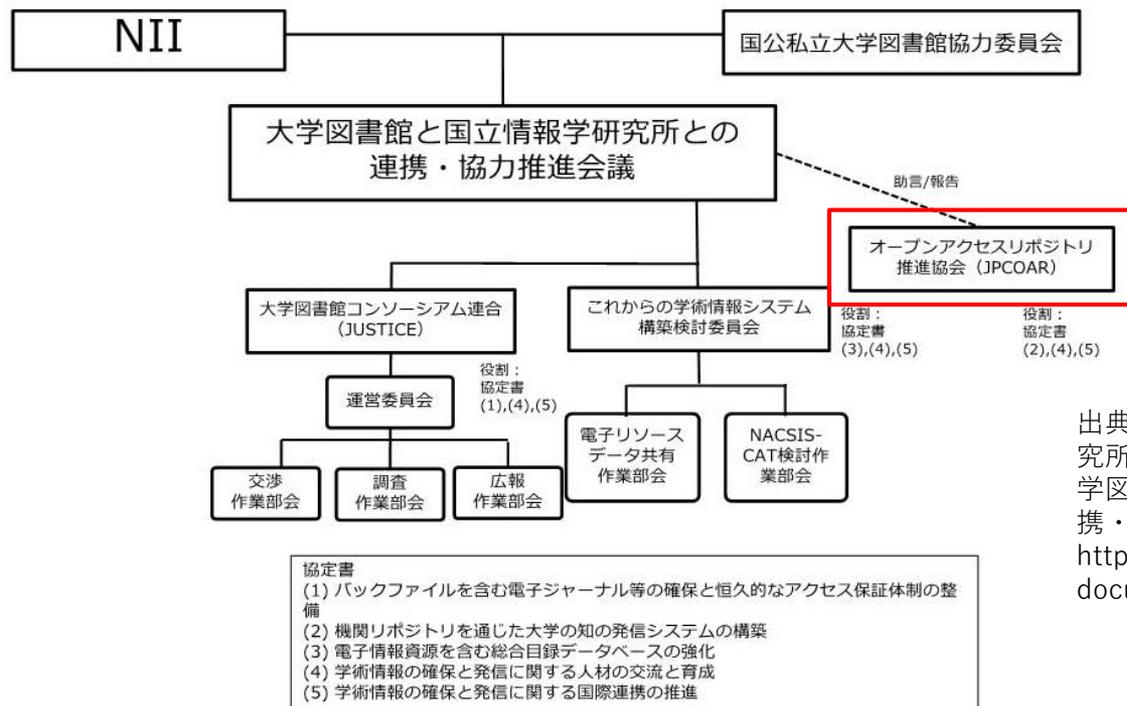
お茶の水女子大学 図書・情報課  
片岡 朋子

# 1. 機関リポジトリコミュニティの 活動状況

---

# オープンアクセスリポジトリ推進協会 Japan Consortium for Open Access Repository : JPCOAR

- 2016年7月設立
- 528機関が参加 (2017年10月18日時点)
- デジタルリポジトリ連合 (DRF)、機関リポジトリ推進委員会、JAIRO Cloud コミュニティの活動を継承



出典：“大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力体制”. 第14回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議 配付資料 p.45.  
[http://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/14-2\\_paper.pdf](http://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/pdf/14-2_paper.pdf)

# オープンサイエンスに対する 機関リポジトリコミュニティの活動 (1)

- RDMトレーニングツールの提供 (gaccoにて2017/11/15開講予定)  
[https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga088+2017\\_11/about](https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga088+2017_11/about)



The screenshot shows the GACCO LMS interface. At the top left is the GACCO logo with 'The Japan MOOC' and 'Certified by JMOOC'. To the right is a 'トップページ' (Home) link. Below the logo are 'ログイン' (Login) and '新規会員登録' (New Member Registration) buttons. The main content area features the course title 'ga088: オープンサイエンス時代の研究データ管理' and a large green button labeled 'ga088を受講登録' (Enroll in ga088). On the right side of the course card is a promotional image of a group of people holding a banner that reads 'はじめての研究データ管理!' (First-time Research Data Management!). The banner also includes the text 'Research Data Management' and 'OPEN SCIENCE'.

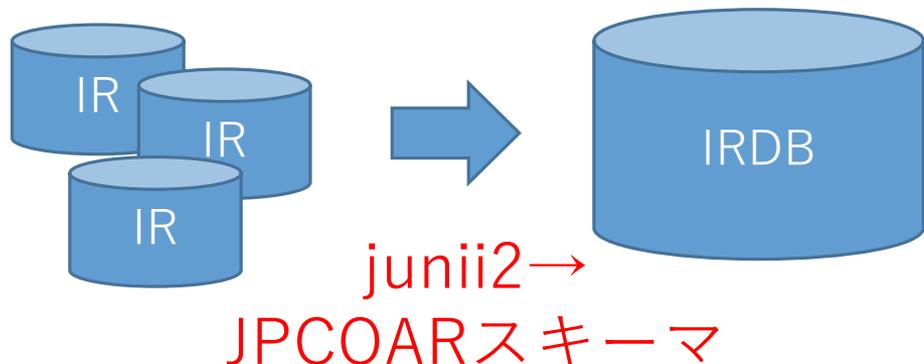
- オープンアクセス方針策定ガイドの提供  
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000021/>

# オープンサイエンスに対する 機関リポジトリコミュニティの活動（2）

機関リポジトリのメタデータ交換フォーマットjunii2の改訂

各機関リポジトリからIRDBに  
メタデータをハーベスティング

各種サービスに  
データを流通



ハーベスト対象：  
**652**リポジトリ  
(2017/10/31)

# JPCOARスキーマの検討メンバー

## 2016年度メタデータ検討タスクフォース

主査：高橋 菜奈子（千葉大学）

協力員：佐々木 翼（北海道大学）， 前田 朗（東京大学）， 南山 泰之（国立極地研究所）， 香川 朋子（お茶の水女子大学）， 大園 隼彦（岡山大学）， 林 豊（九州大学）

国立情報学研究所：片岡 真， 田口 忠祐， 大向 一輝， 山地 一禎



## 2017年度メタデータ普及タスクフォース

主査：高橋 菜奈子（千葉大学）

作業部会員：石田 唯（東京大学）， 片岡 朋子（お茶の水女子大学）， 松村 友花（神戸大学）， 林 豊（九州大学）， 前田 朗（東京大学）

国立情報学研究所：片岡 真， 田口 忠祐， 大向 一輝， 山地 一禎

# junii2改訂基本方針

(JPCOARスキーマ策定の基本方針)

---

1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充
2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正
3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義

# 1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

---

- 公的な研究助成を受けた学術成果物の助成機関情報の収集
  - 助成機関情報
    - [助成機関識別子](#)
    - 助成機関名
    - [研究課題番号](#)
    - 研究課題名
- ライセンスの明示によるデータの再利用促進
  - 権利情報
    - [ライセンスのURI \(例：Creative Commons\)](#)
  - 権利者情報
    - [権利者識別子](#)

# 1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

---

オープンアクセス（OA）の達成度を把握するため、OAの状態やAPCの支払い状況を記述できる要素を追加

- アクセス権
  - embargoed access: エンバーゴ有
  - metadata only access: メタデータのみ
  - open access: オープンアクセス
  - restricted access: アクセス制限有
- APC（論文処理費用）
  - Paid：支払済み
  - Not required：不要
  - Not charged：無料
  - Fully waived：全て免除
  - Partially waived：一部免除
  - Unknown：不明

# 1. オープンサイエンス・オープンアクセス方針に対応した要素の拡充

- バージョン情報

データのバージョンを記述

- 位置情報

- 位置情報（点）

経度 / 緯度

- 位置情報（空間）

西部経度 / 東部経度 / 南部緯度 / 北部緯度

- 位置情報（自由記述）

- 寄与者の役割（contributorType）

ContactPerson	連絡担当者	ProjectManager	プロジェクト管理者
DataCollector	データ収集者	ProjectMember	プロジェクトメンバー
DataCurator	データキュレーター	RelatedPerson	関係者
DataManager	データ維持管理者	Researcher	調査者
Distributor	頒布者	ResearchGroup	調査グループ
Editor	編集者	Sponsor	スポンサー
HostingInstitution	提供機関	Supervisor	監督者
Producer	製作者	WorkPackageLeader	ワークパッケージ管理者
ProjectLeader	プロジェクトリーダー	other	その他

## 2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

---

情報をより正確に記述かつ機械的に処理可能に

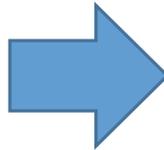
- 人物単位（作成者 / 寄与者 / 権利者）
- 機関単位（所属機関 / 助成機関 / 学位授与機関）
- リソース単位
  - 資源識別子（DOI / HDL / URI）
  - 関連識別子（ARK / arXiv / DOI / HDL / ICHUSHI / ISBN / J-GLOBAL / Local / PISSN / EISSN / NAID / NCID / PMID / PURL / SCOPUS / URI / WOS）
  - 研究課題番号
  - 雑誌識別子

## 2. 識別子の拡充・メタデータ構造の修正

### junii2 (一部)

### JPCOARスキーマ (一部)

項目	element
タイトル	title
その他(別言語等)のタイトル	alternative
作成者	creator
著者キーワード	subject
国立情報学研究所 メタデータ 主題語彙集	NIIsubject
日本十進分類法	NDC
国立国会図書館分類表	NDLC
日本件名標目	BSH
国立国会図書館件名標目表	NDLSH
医学件名標目表	MeSH
デューイ十進分類法	DDC
米国議会図書館分類表	LCC
国際十進分類法	UDC
米国議会図書館件名標目表	LCSH
内容記述	description
公開者	publisher
寄与者	contributor
日付	date
資源タイプ	type



項目名	要素名
タイトル	dc:title
その他のタイトル	dcterms:alternative
作成者	jpcoar:creator
作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier
作成者姓名	jpcoar:creatorName
作成者姓	jpcoar:familyName
作成者名	jpcoar:givenName
作成者別名	jpcoar:creatorAlternative
所属機関	jpcoar:affiliation
所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier
所属機関名	jpcoar:affiliationName
寄与者	jpcoar:contributor
寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier
寄与者姓名	jpcoar:contributorName
寄与者姓	jpcoar:familyName
寄与者名	jpcoar:givenName
寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative
寄与者所属	jpcoar:affiliation
所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier
所属機関名	jpcoar:affiliationName

# 3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義

参照したメタデータ定義

 Dublin Core Metadata Initiative  
(基本的な要素)

 DataCite  
(研究データ)

  
(APC)

  
Confederation of Open Access Repositories  
(統制語彙)

  
OpenAIRE  
(出版タイプ)

情報交換

 国立国会図書館  
National Diet Library  
DC-NDL  
(学位論文)

J P C O A R  
オープンアクセスリポジトリ推進協会  
(独自定義)

## 2. 次世代CiNiiへの期待

---

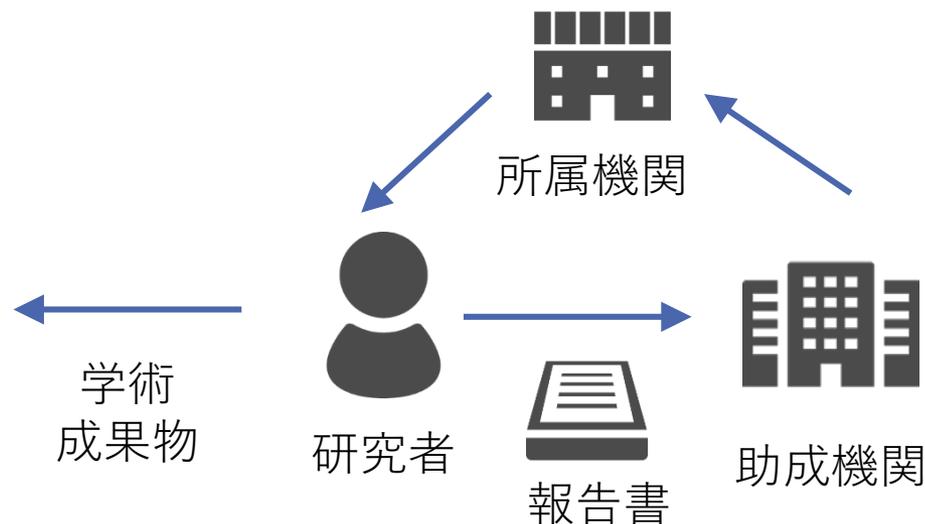
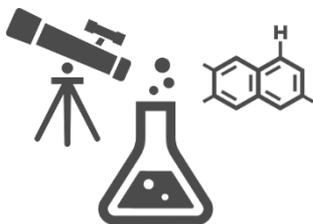
# 次世代CiNiiへの期待

---

1. 多様化する学術成果物の発見性の向上
2. 関連性のあるコンテンツ同士の相互リンク
3. 統合的な知識基盤としての学術情報流通の促進

# 多様化する学術成果物

国内の学術情報サービス（一部）

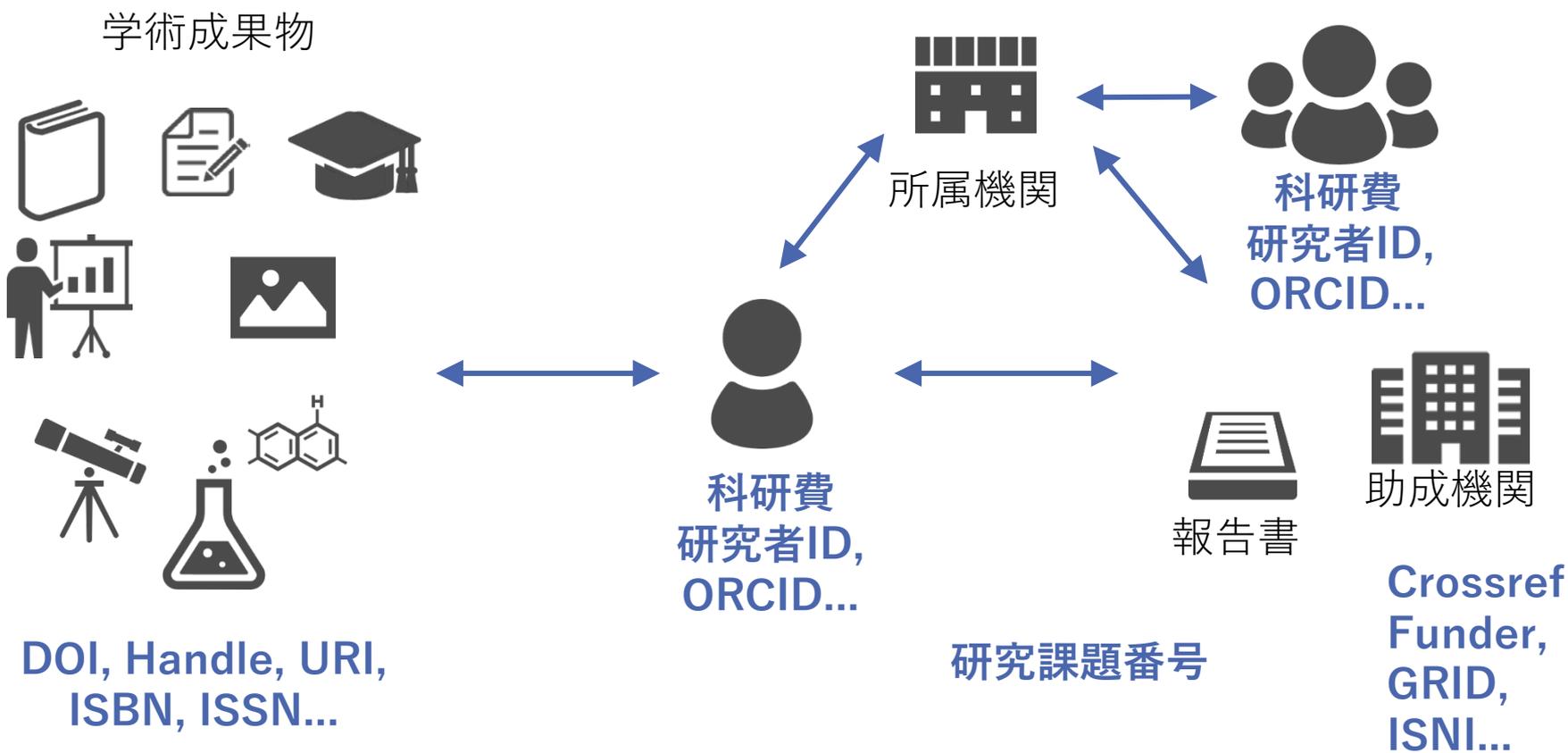


# 1. 多様化する学術成果物の発見性の向上

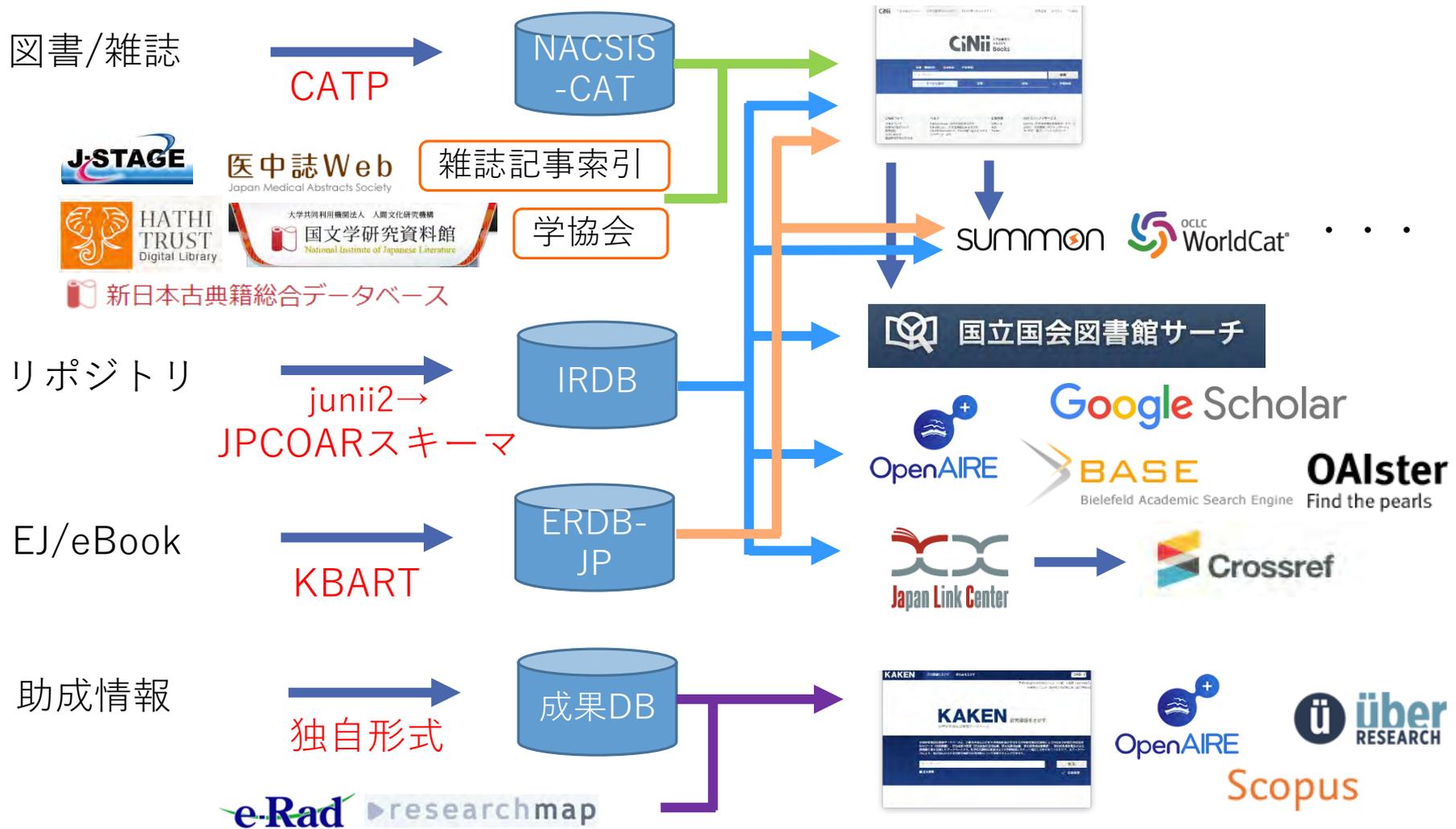


日本の学術成果物の統合的な検索サービス

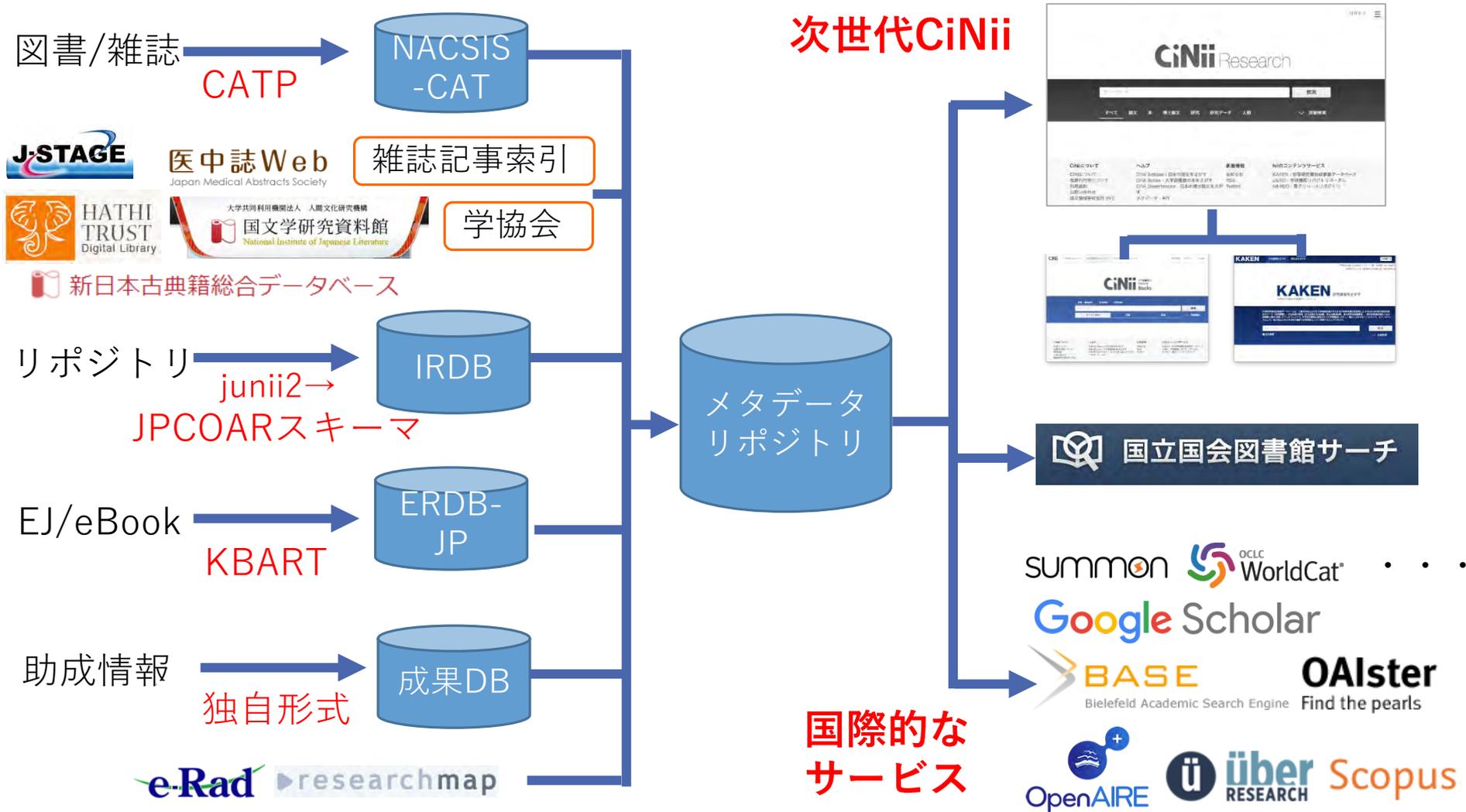
## 2. 関連性のあるコンテンツ同士の相互リンク



# 3. 統合的な知識基盤としての学術情報流通の促進



# 3. 統合的な知識基盤としての学術情報流通の促進



ご清聴ありがとうございました

JPCOARスキーマに関するお問い合わせ先：  
JPCOARメタデータ普及タスクフォース  
[irtf\\_metadata@nii.ac.jp](mailto:irtf_metadata@nii.ac.jp)